

令和2年度国立大学法人琉球大学入札監視委員会議事概要

開催日時及び場所	令和2年11月25日(水) 11:00~12:00 琉球大学本部棟2階 第二会議室	
委員	委員長 仲地 健(沖縄国際大学産業情報学部 教授) 委員 上原 道子(上原道子行政書士事務所) 委員 田里 友治(税理士法人 SOUTH POINT)	
審議対象期間	令和元年10月1日~令和2年9月30日	
抽出案件(合計)	7 件	①委員長の選出 国立大学法人琉球大学入札監視委員会設置要項3条にのっとり、互選により仲地委員が委員長に選出された。 ②審議事項 抽出案件について、資料に基づき、事務局より工事等概要説明及び契約手続の説明を行った。質疑応答があり、内容を点検及び確認し、全ての案件が問題無しと承認された。
工 事(小計)	4 件	
一般競争入札 (政府調達に関する協定対象工事)	0 件	
一般競争入札 (上記工事を除く)	3 件	
工事希望型競争入札	0 件	
通常指名競争入札	0 件	
随意契約	1 件	
設計・コンサルティング業務	3 件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	特になし	

質問	回答
<p>1. 建設工事の入札・契約状況について【報告事項】</p> <p>(事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>2. 設計・コンサルティング業務の入札・契約状況について【報告事項】</p> <p>(事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>3. 指名停止等の措置状況について【報告事項】</p> <p>(事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>4. 建設工事における抽出案件の審議</p> <p>①(千原)基幹・環境整備(理学部校舎本館棟他受変電設備改修)工事</p> <p>(事務局より概要及び契約内容の説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札率が89%に達しているのに低入札になるのか。 ・低入札になった場合は、ヒアリングを行うのか。 ・業者2社のうち、1社が辞退した理由は何か。 ・辞退の表明はどういったタイミングでされるのか。 <p>以上により、「手続き等について問題なし」と承認された。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・工事ごとに各経費に定められた率を掛け調査基準額を算定していますが、今回の基準価格が高い方であったと思います。 ・指定した低入札価格調査資料を提出してもらい、必要に応じてヒアリングを行います。 ・辞退した理由は参加者の諸事情によるものですが、別機関の工事を受注し、技術者を配置できなくなったので、辞退するケースはよくあります。 ・入札参加申請後、入札までの間いつでも可能です。また紙入札、電子入札いずれも辞退は可能です。
<p>②(千原)農学部校舎本館棟改修(Ⅰ・Ⅱ期)機械設備工事</p> <p>(事務局より概要説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理由書によると、10社程度の入札参加を見込んでいたところ、実際は1社しか参加しなかったようだが、その理由は何か。 ・不落随契の手続きを教えてほしい。 ・工事名や工事概要を一見しただけでは実際の工事が何かわかりづらいため、入札参加業者が少ないのではないかと。建設業者がわかりやすい工事名にするなど工夫すべきではないか。 <p>以上により、「手続き等について問題なし」と承認された。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近年は県内の工事需要が多いため、配置予定技術者を確保できず、参加できないことが多いようです。 ・2回目の開札で予定価格との乖離が大きかったため入札を打ち切り、最安値の入札価格を提示した業者と随意契約協議を行い、見積合せを行って契約締結した。 ・今後、誤解のないよう適切な情報提供に努めていきます。

質問	回答
<p>③琉球大学(千原)農学部校舎本館棟改修(Ⅰ・Ⅱ期)工事 (事務局より概要説明)</p> <p>・コロナによる入札の変化はあるか。</p> <p>・高額の仕事であるが、入札参加業者が少ない理由は何か。</p> <p>・コロナの影響によって、入札に関する手続きでデジタル化しているものはあるか。</p> <p>以上により、「手続き等について問題なし」と承認された。</p>	<p>・工事が遅れるなど現場への影響は出ていますが、国土交通省が出しているガイドライン等に基づいて現場監理や現場変更等の対応しています。</p> <p>・技術者不足により配置予定技術者を確保できず、参加できないことが多いようです。工事は時期が重なりやすいので、今後は早期発注、発注時期等の見直しも検討する必要があります。</p> <p>・コロナの影響で、今年は学内外会議のWeb化が進んでいます。県外の業者との打合せもWebを用いてスムーズに行っています。</p>
<p>④(千原他)基幹・環境整備(本部管理棟他受変電設備改修)工事 (事務局より概要説明)</p> <p>・入札参加業者が多かった理由は何か。</p> <p>・コロナの影響で、これまで公共工事に参加してこなかった業者が入札に参加するようになったか。</p> <p>・入札結果等一覧表に、「資格なし」と記載されている業者がいるが、何故か。</p> <p>以上により、「手続き等について問題なし」と承認された。</p>	<p>・本件は、他工種との調整もいらない電気設備単独工事であること、またスケールも大きい工事であることから業者が多かったと推測します。</p> <p>・コロナの影響かどうかは不明ですが時折、新規参入が見受けられます。</p> <p>・競争参加資格を有せず参加してきたため、「資格なし」としました。</p>
<p>⑤琉球大学医学部及び同附属病院移転整備渡り廊下基本設計業務 (事務局より概要説明)</p> <p>・基本設計を担当した3社JVと随意契約を交わしている。基本設計を担当した業者と契約することが合理的と判断されたようだが、このような判断は、今後改修工事等が出た場合も、他の業者が参加できず、同一業者とのやり取りが続く危険性を感じるが、これについてどう考えるか。</p> <p>・当初の設計で渡り廊下が発生することはわかるはずだが、その案は出てこなかったのか。今頃話ができたのは何故か。</p> <p>以上により、「手続き等について問題なし」と承認された。</p>	<p>・病院移転整備事業が終了した後は個別の改修等となり、別事業となるため、他の業者が入札に参加出来ないということはない。プロポーザル方式で手続きを進めていく予定です。</p> <p>・建物の基本設計時から渡り廊下設置計画はありましたが、どの階にどういった部局が入るか等、ある程度具体的な設計が見えてこないという指示が出せなかったため、このタイミングでの設計委託になりました。</p>

質問	回答
<p>⑥(西普天間)エネルギーセンター等新営その他設備実施設計業務 (事務局より概要説明)</p> <p>・落札率が約61.3%と低いが低入札となっていないのは何故か。</p> <p>・理由書の項目「点検事項発生までの状況」に「設計・コンサルティング業務の認定を受けている者であること」とあるが、どこが認定するのか。また、認定基準が厳しいために入札参加業者が少ないのではないか。</p> <p>以上により、「手続き等について問題なし」と承認された。</p>	<p>・本学の会計実施規程に定める、「予定価格算出の基礎となった直接物品費及び直接人件費を下回る入札価格であった場合」に該当しないため、低入札価格調査は行っていません。</p> <p>・文科省が認定しています。文科省における「一般競争参加者の資格」で定める競争参加資格の認定であり、一般的な基準であると考えます。</p>
<p>⑦(西普天間)エネルギーセンター等新営その他実施設計業務 (事務局より概要説明)</p> <p>・プロポーザル方式の手続きについて教えてほしい。また、10社が参加資格を満たしていたのに、最終的には1社としか見積り合せを行っていないのは何故か。</p> <p>・7回目で落札とあるが、金額が決まるまで見積り合せを続けるのか。技術提案に10件もきたのは何故だと考えるか。</p> <p>以上により、「手続き等について問題なし」と承認された。</p>	<p>・各業者が提出した技術提案書を委員会で総合的に評価して一番評価の高い1社と見積り合せを行います。この1社目が辞退した場合、次点の業者との交渉に移ります。</p> <p>・見積り合せに回数制限はなく、業者が辞退するまで行います。10社というのは、移転整備事業であるということが大きいと考えます。基本設計は既に業者が決定しているので、その周辺の実施設計を行い、事業に携わろうとしていると推測します。</p>

質問	回答
----	----